



地域・社会と共生する企業市民として、社会貢献活動や将来の技術者育成支援に取り組んでいます。

地域交流

工場・事業所見学や社会体験の受け入れ、清掃活動などを通じて地域の皆様と交流し、より良い関係づくりに努めています。

工場・事業所見学の受け入れ

工場や事業所見学の受け入れを幅広く行い、子どもから大人まで、ロボットを始めとするものづくりの現場を間近で見ていただく機会を提供しています。2010年度は年間約5,500名の見学者に会場していただきました。



地域の清掃活動への参加

安川電機本社のある黒崎地区美化推進協議会主催の清掃活動に参加し、地元企業の方たちと一緒に商店街や駅周辺の清掃活動を行っています。

また、事業所周辺の清掃活動を従業員が交代で実施しています。環境の整備はもちろんのこと、社員一人ひとりのモラルの向上を図ることで、最終的には日常業務における安全意識の向上を目指しています。



黒崎駅周辺の清掃活動に参加

国際交流

技術の交流から、人と人との交流まで、国際的な交流を幅広く行っています。

フィンランドとの友好

2002年、当社内に在北九州フィンランド共和国名誉領事館が開設され、以来、在北九州フィンランド人の支援、渡航の際のビザ受付業務などを行っています。2007年4月より、当社会長 利島康司(当時の社長)が在北九州フィンランド共和国名誉領事を拝命しました。

また、当社は九州フィンランド協会の事務局も務め、フィンランドとの文化交流の窓口となっています。



在北九州フィンランド共和国名誉領事館の紋章

上海交通大学で「安川杯」技術コンテストを開催

当社は2008年から、上海交通大学と連合実験室を同大学内に開設し、サービスロボットの共同研究を行うとともに、メカトロニクス技術者の育成を支援しています。2010年7月には、学生を対象にロボットの技術を競い合う「安川杯」技術コンテストを開催しました。



「安川杯」技術コンテスト

教育・学術

次代を担う人材を育むために、学生の支援や留学生の受け入れ、教育機関との共同研究などに取り組んでいます。

「高専ロボコン」を応援

2005年より「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)」に協賛しています。このコンテストは、全国の高専が参加してロボット製作のアイデア、技術、性能を競う教育イベントであり、2010年で23年目を迎えました。ロボット事業を営む当社は、次世代の技術者育成のため、多くの若者がものづくりに情熱を注ぐ高専ロボコンを応援しています。



アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2010

「RTミドルウェアコンテスト」に協賛

2010年12月、当社は、より容易にロボットシステムを構築するためのソフトウェア「RTミドルウェア」の開発成果を学生や社会人によって競う「RTミドルウェアコンテスト」に協賛しました。次世代ロボット産業の拡大に有用な技術の普及の一助になればと考えています。

子ども向け体験教室を開催

イベントなどで子どもたち向けの体験教室を開催し、ものづくりの楽しさを広める取り組みを行っています。

2010年度は、「モノづくり体感スタジアム」と福岡県行橋市の産業祭「愛らんどフェア2010」で、磁石やエナメル線を使った子ども向けのモータ作り教室を開催しました。

当社の技術者がモータの回る原理から作り方までを解説し、子どもたちの熱心に取り組む姿を見ることができました。



「モノづくり体感スタジアム」
モータ作り教室

芸術・文化・スポーツ

当社が所蔵する美術品の公開や陸上部の活動などを通じて、文化やスポーツの振興に努めています。

棟方志功カレンダーの製作

当社は棟方志功画伯の板(版)画によるカレンダーを1958年以来、毎年製作しています。画伯没後も(財)棟方板画館のご協力をいただきながら製作を継続しており、画伯の業績紹介の一助となっています。

また、当社所蔵作品の展覧会への貸し出しも行っています。2010年度は「棟方志功 祈りと旅」展に、四国各地の風景を題材とした「南海道棟方板画」をはじめとする作品を貸し出しました。

陸上部の活動

当社陸上部は21年連続33回目の出場を果たした「全日本実業団対抗駅伝(ニューイヤー駅伝)」をはじめとする各地での大会に参加し、皆様の温かいご声援をいただいています。また、大会への参加以外にも、陸上を通じて地域の子どもの交流も深めています。

ニューイヤー駅伝では今年は4位に入賞し、当社陸上部の中本健太郎が2011年夏に開催される第13回「世界陸上競技選手権大会」男子マラソンの代表に選出されました。



第63回びわ湖毎日マラソンに出場